

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2000-347616(P2000-347616A)

【公開日】平成12年12月15日(2000.12.15)

【出願番号】特願2000-99162(P2000-99162)

【国際特許分類第7版】

G 09 G 3/20

G 09 G 3/28

【F I】

G 09 G 3/20 6 4 1 E

G 09 G 3/28 K

G 09 G 3/28 E

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月11日(2004.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示部の画素の点灯によって映像を表示する表示装置であって、

入力映像信号を処理する入力信号処理回路と、

表示部に表示する映像の表示解像度情報を制御する制御回路と、

該入力信号処理回路と該制御回路とからの出力に基づいて表示部を駆動する駆動回路とを有し、

該表示解像度情報を該制御回路によって制限することにより、点灯すべき該画素を選択する時間を短くし、該駆動回路で表示部を駆動して該入力映像信号に対応する映像を表示するようにしたことを特徴とする表示装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記制御回路は、複数の周波数成分に分割し、選択的に該周波数成分を合成する演算回路を含めて構成され、該演算回路により前記表示解像度情報を制限するようにしたことを特徴とする表示装置。

【請求項3】

表示部の画素をサブフィールド方式で点灯させて映像を表示する表示装置であって、

入力映像信号のサブフィールド変換処理を行なう入力信号処理手段と、

該表示部に表示される映像の少なくとも1つの下位側サブフィールドの複数のラインのアドレス信号を同一とする演算処理手段と、

該入力信号処理手段と該演算処理手段とからの出力に基づいて、該表示部の該画素をアドレスし、点灯させる駆動手段と

を有し、

該演算処理手段により該少なくとも1つの下位側サブフィールドの複数のラインのアドレス信号を同一として点灯すべき該画素を選択するアドレス制御時間を短くし、該駆動手段で表示部を駆動して該入力映像信号に対応する映像を表示するようにしたことを特徴とする表示装置。

【請求項4】

請求項 3 において、

前記演算処理手段は、最も発光重みの小さい最下位サブフィールドを含む下位側サブフィールドの複数のラインのアドレス信号を同一としたことを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 において、

前記下位側サブフィールドの数を外部から設定できるように構成したことを特徴とする表示装置。

【請求項 6】

請求項 3, 4 または 5 において、

前記演算処理手段は、前記少なくとも 1 つの下位側サブフィールドの隣接する 2 ラインのアドレス信号を同一としたことを特徴とする表示装置。

【請求項 7】

表示部の画素の点灯によって映像を表示する表示方法であって、

入力映像信号を処理し、

表示部に表示する映像の表示解像度情報を制御し、

該入力信号処理回路と該制御回路とからの出力に基づいて表示部を駆動し、

該表示解像度情報を制限することにより、点灯すべき該画素を選択する時間を短くし、表示部を駆動して該入力映像信号に対応する映像を表示するようにしたことを特徴とする表示方法。

【請求項 8】

請求項 7 において、

前記制御は、複数の周波数成分に分割し、選択的に該周波数成分を合成する演算を含めて構成され、該演算により前記表示解像度情報を制限するようにしたことを特徴とする表示方法。

【請求項 9】

表示部の画素をサブフィールド方式で点灯させて映像を表示する表示方法であって、

入力映像信号のサブフィールド変換処理を行ない、

該表示部に表示される映像の少なくとも 1 つの下位側サブフィールドの、複数のラインのアドレス信号を同一としたことを特徴とする演算処理し、

該サブフィールド変換処理と該演算処理とからの出力に基づいて、該表示部の該画素をアドレスし点灯させ、

該演算処理によって該少なくとも 1 つの下位側サブフィールドの複数のラインのアドレス信号を同一としたことにより、点灯すべき該画素を選択するアドレス制御時間を短くするようにし、表示部を駆動して該入力映像信号に対応する映像を表示するようにしたことを特徴とする表示方法。

【請求項 10】

請求項 9 において、

前記演算処理は、最も発光重みの小さい最下位サブフィールドを含む下位側サブフィールドの複数のラインのアドレス信号を同一としたことを特徴とする表示方法。

【請求項 11】

請求項 9 または 10 において、

前記下位側サブフィールドの数を外部から設定できるように構成したことを特徴とする表示方法。

【請求項 12】

請求項 9, 10 または 11 において、

前記演算処理は、前記少なくとも 1 つの下位側サブフィールドの隣接する 2 ラインのアドレス信号を同一としたことを特徴とする表示方法。